

## 令和3年度 学校評価 生徒・保護者アンケート結果（10月実施）について

### 1 学校評価について

本校では、次のように学校評価を実施しています。

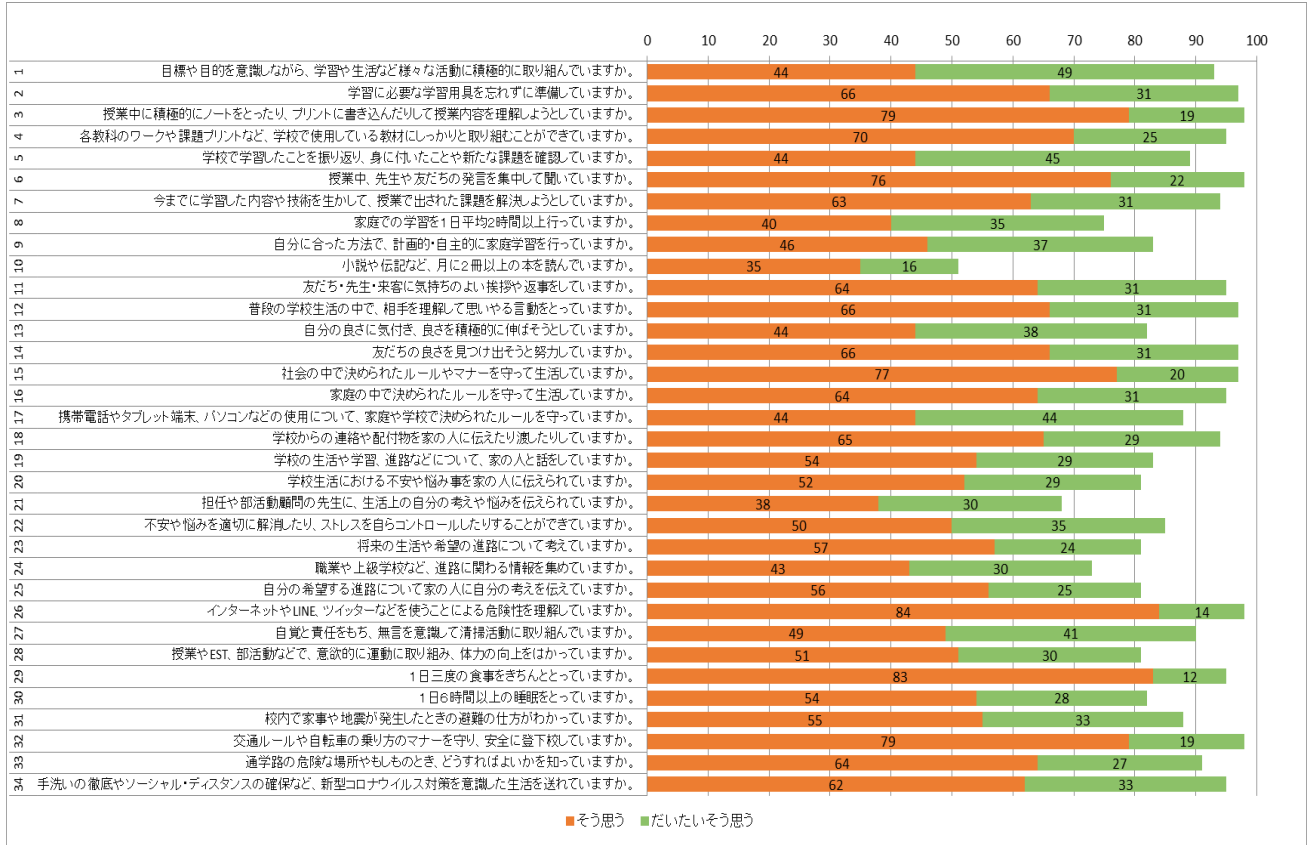
- |  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>(1) 生徒・保護者を対象とするアンケート調査を行う。</li><li>(2) アンケート集計結果や自由記述の内容を基に、教師による自己評価を行う。</li><li>(3) 教師による記述式の「反省と要望」という形式で、「次年度への改善と方針」を明らかにする。</li></ul> |
|--|

この資料では、(1) のアンケート結果と改善に向けての方針を示しました。

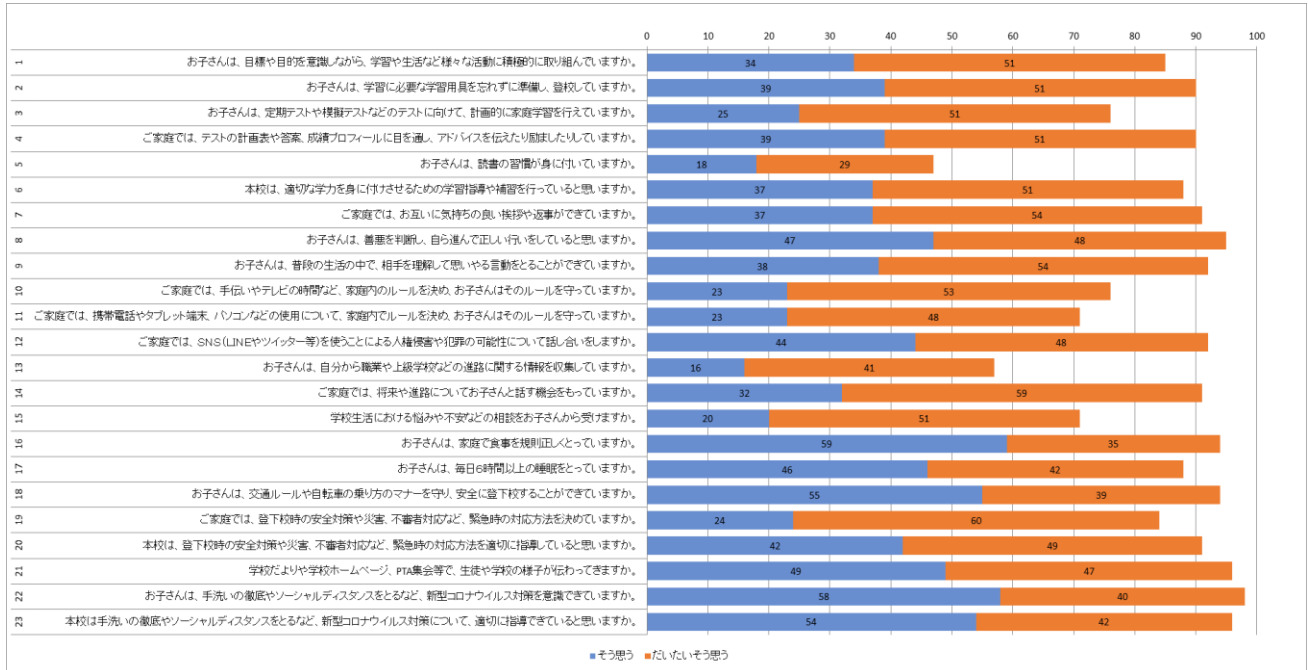
### 2 資料の見方

- (1) 配付したグラフの資料をご覧ください。アンケートの回答の「そう思う」・「だいたいそう思う」・「あまりそう思わない」・「そう思わない」・「わからない」のうち、「そう思う」・「だいたいそう思う」の合計の割合をグラフにしました。
- (2) 別紙の資料は、「そう思う」・「だいたいそう思う」の合計の割合が低かった項目（70%以下）について、＜生徒＞と＜保護者＞に分け、現状や改善に向けての方針、ご協力をお願いなどについてまとめています。

## 令和3年度第1回学校評価アンケート＜生徒＞10月実施



## 令和3年度第1回学校評価アンケート＜保護者＞10月実施



## 「思う」・「だいたい思う」の合計の割合が低かった項目（70%以下）について

### <生徒>

**質問番号 10 「小説や伝記など、月に2冊以上の本を読んでいますか。」 51%**

→ 昨年度同時期のアンケートと比較すると、9ポイント下降しました。本校では、月曜日と水曜に「朝読書の時間」を設けています。生徒の読書活動は、生徒が未来をたくましく切り拓くための活力の源となるものと考えます。

今後も、図書委員会による図書室の新刊やお勧めの本の紹介をする図書だよりの発行などを通して、図書室の積極的な利用を促すとともに、教師も一緒に本を読み味わう環境整備に努めながら、生徒への読書啓発活動を継続していきます。

**質問番号 21 「担任や部活動顧問の先生に、生活上の自分の考えや悩みを伝えられていますか。」 68%**

→ 昨年度同時期のアンケートと比較すると、5ポイント上昇しました。本校では、今年度も学期に一度定期教育相談を設け、一人一人の悩みや思いに寄り添いながら、相談する時間を確保しています。

今後も、日々の生活記録ノートや授業時間等のすべての教育活動を通して、生徒との対話を重視し「受容」、「共感的理解」、「自己一致」の態度で接し、生徒の自己成長力を信頼し、支援する姿勢で臨んでまいります。

### <保護者>

**質問番号 5 「お子さんは、読書の習慣が身に付いていますか。」 47%**

→ 昨年度同時期のアンケートと比較すると、4ポイント下降しました。上記の生徒質問番号 10 にもあるように、お子さんの読書量は下降傾向にあります。子供の読書活動は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにするなど、人生をよりよく生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものです。

ご家庭におかれましては、引き続き、話題となっている本と一緒に読んだり、定期的に本を読む時間を設けたりするなど読書の習慣付けを図り、今後も読書に対する興味や関心を引き出すような働きかけにご協力をお願いします。

**質問番号 13 「お子さんは、自分から職業や上級学校などの進路に関わる情報を収集していますか。」 57%**

→ 昨年度同時期のアンケートと比較すると、6ポイント上昇しました。キャリア教育の観点からも、自ら情報を収集し、生き方を選択していくことができるよう必要な能力や態度を育成していくことは非常に重要なことだと考えております。

本校ではオンライン企業訪問や上級学校調べなどの学習を通して、自己理解を深めながら自らの希望や思いに沿って将来を考えていく活動を行っております。ご家庭でも将来の一人一人の社会的・職業的自立に向け、共感的理解を示しながらも親の思いや意見はしっかりと伝え、面談や成績プロフィールへのコメントなどを機会として親子の対話を設けていただければと思います。